

高知県感染症発生動向調査（週報）

2024年 第24週 （6月10日～6月16日）

★県内での感染症発生状況

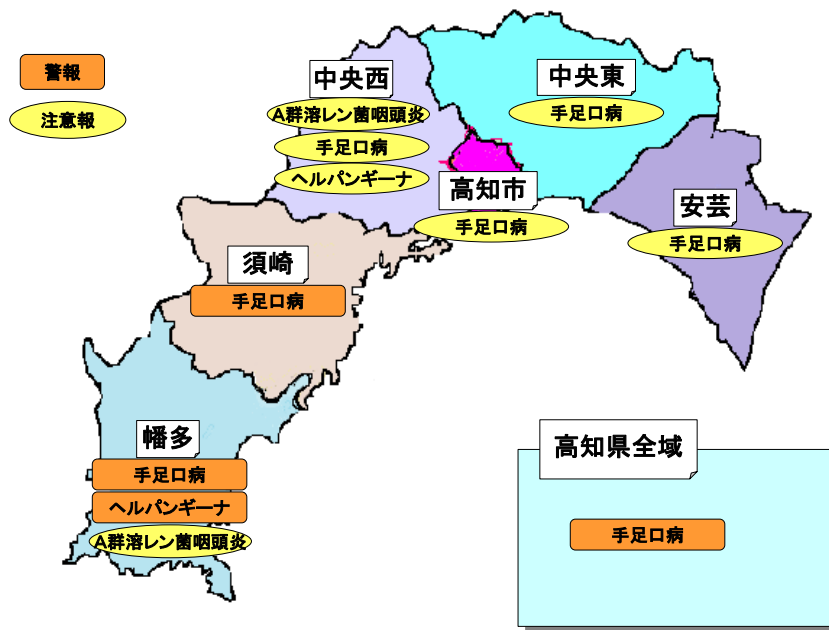
インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり 報告数	保健所別の傾向
手足口病	▲	5.84	幡多、須崎、高知市、中央東で減少していますが、安芸で急増しています。
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	▶	3.72	須崎、高知市で減少していますが、中央東で急増、中央西で増加しています。
新型コロナウイルス感染症	▶	3.59	中央西、須崎で減少していますが、安芸、高知市で増加しています。
感染性胃腸炎	▶	2.48	安芸、須崎で減少していますが、幡多、中央西で急増しています。
RSウイルス感染症	▲	2.12	幡多で急減、須崎で減少していますが、中央西で急増、中央東で増加しています。

<推移の基準>

急増	▲	前週と比較し、2倍以上の場合
増加	▲	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合
横ばい	▶	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合
減少	▲	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
急減	▲	前週と比較し、0.5倍未満の場合

★地域別警報・注意報状況



★週報の発行日

週報は、毎週「水曜日」の午後3時30分以降に発行しています。

ただし、「月曜日」「火曜日」「水曜日」が祝日の場合は、「木曜日」になります。

★感染症予防の基本

手洗い：感染症予防の基本は手洗いです

- ・爪は短く切っていますか？
- ・指輪・時計は外していますか？

- ① 石けんを泡立て、手のひらをよくこすります
- ② 手の甲、指の間や指先、爪の間まで丹念にこすります
- ③ 親指をねじり洗いし、手首も忘れずに洗います
- ④ 石けんを洗い流し、清潔なタオルで拭き取って乾かします

汚れの残りやすいところも丁寧に：指先、指の間、爪の間、親指の周り、手首、手のしわ
タオルの共有は避けましょう



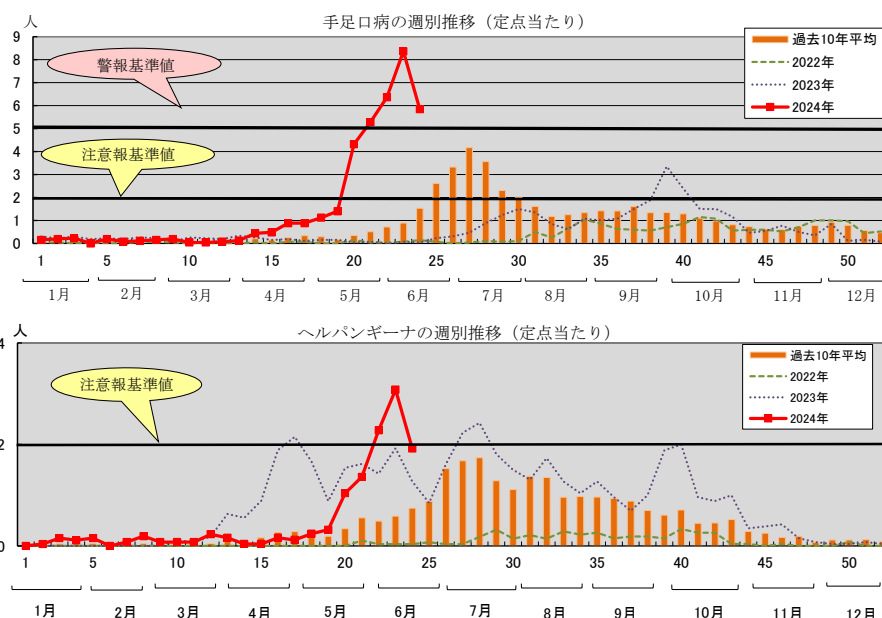
★県内で注目すべき感染症 ～注意点や予防方法～

夏型感染症(手足口病・ヘルパンギーナ)

手足口病は、通常は3～5日の潜伏期をおいて、口の中、手のひら、足の裏や足背などに2～3mmの水疱性発疹ができます。ほとんどの発病者は数日間のうちに治る病気ですが、ごくまれに髄膜炎や脳炎などを生じることがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意してください。病気の原因となるウイルスは、主にコクサッキーウイルスA6、A16、エンテロウイルス71（EV71）で、その他、コクサッキーウイルスA10などが原因になることもあります。コクサッキーウイルスA6に感染した場合、手足口病の症状が消失してから1か月以内に、一時的に手足の爪が脱落する症例も報告されていますが、自然に治るとされています。県内の病原体検出情報では、全国でも検出数の多いコクサッキーウイルスA6が4件検出されています。

ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜に形成される水疱性の発疹を主症状としたいわゆる「夏かぜ」の代表的疾患です。2～4日の潜伏期の後、突然の高熱、咽頭痛や咽頭発赤が現れます。口腔内の痛みがあり食事がとり難いため、柔らかく、薄味の食事を工夫し、水分補給を心掛けましょう。

手足口病やヘルパンギーナの原因ウイルスであるエンテロウイルスは、回復後も便中から検出されることもあるため、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。



●予防方法

- *手洗いが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- *タオル・コップ等は別のものを使い、感染者との密接な接触はさけるようにしましょう。
- *回復後にも2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、特に、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。

●学校感染症

手足口病・ヘルパンギーナ：学校保健安全法（同法施行規則第19条）では欠席者が多くなり、授業などに支障をきたしそうな場合など、「学校長が学校医と相談をして第3種学校感染症としての扱いをすることがあり得る病気」となっています。

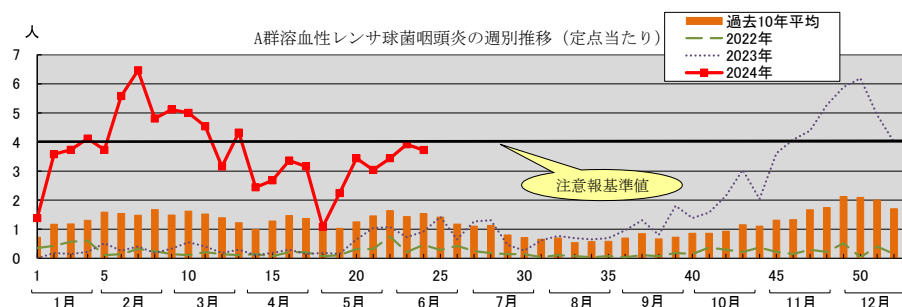
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

この病気は、A群レンサ球菌による上気道感染症です。

県内では、幡多、中央西では注意報値を超えており、過去10年間の同時期と比較して報告数が多くなっています。また、県内の病原体検出情報では、*Streptococcus pyogenes* T1が1件検出されています。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは細菌が付着した手で口や鼻に触れる「接触感染」が主な感染経路になります。

典型的な症状は、2～5日の潜伏期を経て、突然38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌などがみられます。1週間以内に症状は改善しますが、まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる全身症状を呈することがあります。



●予防方法

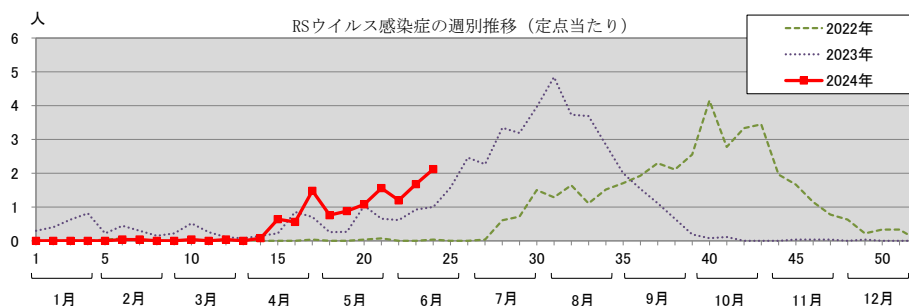
＊患者との濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットを心掛けましょう。

●学校感染症

学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、学校で通常見られないような重大な流行が起こった場合に、その感染拡大を防ぐために、必要があるときに限り学校医の判断を聞き、校長が第3種の感染症として緊急的に措置を取ることができる感染症となっています。

RSウイルス感染症

この病気は2～8日（通常4～6日）の潜伏期間の後に軽い風邪様の症状で発症し、通常1～2週間で軽快しますが、授乳期早期（生後数週間から数ヶ月）に初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。一方、年長児や成人は、感染しても症状が軽いことが多いため、気が付かずに感染源となることがあります。また、慢性呼吸器疾患等の基礎疾患のある高齢者では急性の重症肺炎をおこす原因となるため、高齢者福祉施設では集団発生への注意が必要です。



●予防方法

＊咳エチケットと手洗いを心がけましょう。

＊子どもが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめにアルコールや塩素系消毒薬などで消毒しましょう。

＊現在、60歳以上を対象としたワクチンがあります。

＊以下の対象者については、遺伝子組換え技術を用いて作成されたモノクローナル抗体製剤であるパリビズマブの投与があります。RS ウイルス感染症の流行初期に投与し始めて、流行期も引き続き1 か月毎に筋肉注射することにより、重篤な下気道炎症状の発症の抑制が期待できます。なお、パリビズマブ製剤の投与は保険適用となっています。

- ・ 在胎期間 28 週以下の早産で、12 カ月齢以下の新生児及び乳児
- ・ 在胎期間 29～35 週の早産で、6 カ月齢以下の新生児及び乳児
- ・ 過去 6 カ月以内に気管支肺異形成症の治療を受けた 24 カ月齢以下の新生児、乳児及び幼児
- ・ 24 カ月齢以下の血行動態に異常のある先天性心疾患の新生児、乳児及び幼児
- ・ 24 カ月齢以下の免疫不全を伴う新生児、乳児および幼児＊
- ・ 24 カ月齢以下のダウン症候群の新生児、乳児および幼児＊

ダニの感染症(SFTS・日本紅斑熱)

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は、屋外に生息する比較的大型（吸血前で 3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。この時期は、人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります。（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。また、ネコやイヌなどの動物が SFTS ウイルスに感染、発症した場合、その血液や唾液などの体液に直接触れることで感染する可能性があります。

ペットの健康状態の変化に注意し、体調不良の際には、咬まれたり舐められたりしないように注意してください。必要な場合は動物病院を受診しましょう。また、ペットがマダニに咬まれないようダニ駆除剤を使用することも有効ですので獣医師に相談しましょう。

●予防方法

- マダニに「咬まれないようにする」ことが予防策になります。
- 野山や畑などに出る時には、長袖・長ズボンで肌の露出を避けましょう。
- 虫除け剤（有効成分：ディート）も有効です。
- 飼っているネコやイヌが外で咬まれることもあります。ブラッシング等をこまめにしてマダニを持ち込まないようにしましょう。
- 体調不良のペットに触れたときは、手洗いを心がけてください。

●発熱等の症状が出た場合

- 野山に入って数日～数週間経過した後、発熱等の症状が出た場合は、医療機関を受診してください。
- 受診の際は、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれた可能性）を伝えてください。

●参考

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html

高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症

<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024022700074/>

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
5 類	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	5	80 歳代 男性	中央西
		1		90 歳代 女性	

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
24	手足口病	40℃,発疹,口内炎	1	男	須崎	Coxsackievirus A6 Epstein-Barr virus
24	-	水疱,発疹	2か月	男	幡多	Coxsackievirus A6
24	溶連菌治療中	38℃,全身紅斑	6	女	幡多	Epstein-Barr virus
24	手足口病	39℃,咳嗽,発疹,鼻汁	1	女	須崎	RhinovirusC2

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
19	-	腹痛,血尿	10	女	高知市	<i>Staphylococcus saprophyticus</i>
19	出血性膀胱炎疑い	腹痛,血尿	8	男	高知市	<i>Staphylococcus simulans</i>
23	手足口病	39℃,発疹,口内炎	1	男	須崎	Coxsackievirus A6
23	手足口病	40℃,発疹	1	男	須崎	Coxsackievirus A6
23	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38℃,上気道炎,咽頭痛,頭痛	9	女	須崎	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1
23	手足口病	発疹	10か月	男	須崎	RhinovirusC2

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	早明浦病院小児科	管内保育所で RS ウイルス感染症流行中
	JA 高知病院小児科	マイコプラズマ 1 例 RS ウイルス 10 例 溶連菌性咽頭炎 4 例 アデノウイルス咽頭炎 2 例 COVID-19 1 例 手足口病 12 例 ヘルパンギーナ 3 例 インフルエンザ 0 例
	野市中央病院小児科	COVID-19 1 例 (10 歳女)
高知市	けら小児科・アレルギー科	RS ウイルス感染症 15 例 溶連菌感染症 11 例 COVID-19 2 例 アデノウイルス咽頭炎 2 例
	三愛病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 1 例 (1 歳女)
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症 4 例 手足口病 16 例 COVID-19 7 例 RS ウイルス感染症 2 例 (1 歳男 2 人) インフルエンザ 0 例
	ふないキッズクリニック	アデノウイルス感染症 1 例 (4 歳男)
	細木病院小児科	ロタウイルス腸炎 4 例 (1 歳 2 人、2 歳、4 歳 : 姉妹) RS ウイルス感染症 6 例 咽頭結膜熱 3 例 溶連菌感染症 8 例 感染性胃腸炎 8 例 COVID-19 2 例

保健所	医療機関	情 報
中央西	くぼたこどもクリニック	手足口病 1 例（3 歳男：須崎市） マイコプラズマ肺炎 1 例（6 歳男） RS ウイルス+インフルエンザ B 型混合感染 1 例（7 か月女）
	日高クリニック	マイコプラズマ感染症 2 例（3 歳男、6 歳女） アデノウイルス扁桃炎 1 例（30 歳女）
須 崎	もりはた小児科	COVID-19 1 例（1 歳女） 溶連菌感染症 7 例 手足口病 11 例 ヘルパンギーナ 2 例 23w カンピロバクター腸炎 1 例（10 歳）
幡 多	こいけクリニック	アデノウイルス扁桃炎 1 例（4 歳男） マイコプラズマ肺炎 1 例（6 歳女）
	さたけ小児科	溶連菌感染症 30 例 手足口病 24 例 ヘルパンギーナ 20 例 マイコプラズマ 2 例（12 歳男女） 水痘 1 例（13 歳：ワクチン未接種）

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 高知県保健衛生総合庁舎2階

TEL：088-821-4961 FAX：088-821-4696

※この情報に記載のデータは2024年6月17日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合は、週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(55定点医療機関)

第24週 令和6年6月10日(月)～令和6年6月16日(日)											
定点名 (定点数)	保健所 疾病名	高知県衛生環境研究所						高知県(24週末累計) R6/1/1～R6/6/16			
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前 週	全国(23週)	全国(23週末累計) R6/1/1～R6/6/9
インフル エンザ (COVID- 19(4))	インフルエンザ				2			2 (0.05)	4 (0.09)	861 (0.17)	9,466 (215.14)
	新型コロナウイルス感 染 症	17	39	58	17	7	20	158 (3.59)	143 (3.25)	19,719 (3.99)	6,518 (148.14)
小児科 (25)	咽 頭 結 膜 炎			6		1	1	8 (0.32)	5 (0.20)	2,798 (0.89)	313 (12.04)
	A群溶血性レンサ球菌 咽 頭 炎	1	10	30	14	7	31	93 (3.72)	98 (3.92)	15,322 (4.87)	2,249 (86.50)
	感 染 性 胃 腸 炎	9	14	22	1	1	15	62 (2.48)	60 (2.40)	15,276 (4.86)	1,978 (76.08)
	水 痘				1	1	2	4 (0.16)	4 (0.16)	671 (0.21)	82 (3.15)
	手 足 口 病	6	21	39	8	11	61	146 (5.84)	209 (8.36)	12,037 (3.83)	921 (35.42)
	伝 染 性 紅 斑							()	()	270 (0.09)	13 (0.50)
	突 発 性 発 疹			6		1	2	9 (0.36)	11 (0.44)	1,062 (0.34)	139 (5.35)
	ヘルパンギーナ	3	5	3	4	2	31	48 (1.92)	77 (3.08)	2,024 (0.64)	300 (11.54)
	流行性耳下腺炎							()	2 (0.08)	215 (0.07)	11 (0.42)
	RSウイルス感染症		15	33	4	1		53 (2.12)	42 (1.68)	4,308 (1.37)	305 (11.73)
眼科(3)	急性出血性結膜炎							()	()	25 (0.04)	()
	流行性角結膜炎							()	()	569 (0.82)	11 (3.67)
基幹 (8)	細菌性髄膜炎						1	1 (0.13)	()	12 (0.02)	7 (0.88)
	無菌性髄膜炎							()	()	19 (0.04)	1 (0.13)
	マイコプラズマ肺炎			3			2	5 (0.63)	3 (0.38)	120 (0.25)	29 (3.63)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	2 ()	()
	感 染 性 胃 腸 炎 (ロタウイルスに限る)			4				4 (0.50)	()	16 (0.03)	10 (1.25)
計 (小児科定点当たり人数)		36 (13.75)	104 (14.73)	204 (19.58)	51 (20.75)	32 (14.25)	166 (38.25)	593 (20.56)		75,326	22,353 (606.01)
前 週 (小児科定点当たり人数)		33 (13.25)	115 (16.62)	216 (22.33)	53 (20.00)	42 (18.75)	199 (46.63)		658 (23.66)		

注 () は定点当たり人数。

高知県感染症情報(55定点医療機関) 定点当たり人数

第24週											
定点名 (定点数)	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前 週	全国(23週)	高知県(24週末累計) R6/1/1～R6/6/16
											全国(23週末累計) R6/1/1～R6/6/9
インフル エンザ (COVID- 19(4))	インフルエンザ				0.50			0.05	0.09	0.17	215.14
	新型コロナウイルス感 染 症	4.25	3.90	4.14	4.25	1.75	2.50	3.59	3.25	3.99	148.14
小児科 (25)	咽 頭 結 膜 炎			0.67		0.50	0.25	0.32	0.20	0.89	12.04
	A群溶血性レンサ球菌 咽 頭 炎	0.50	1.67	3.33	7.00	3.50	7.75	3.72	3.92	4.87	86.50
	感 染 性 胃 腸 炎	4.50	2.33	2.44	0.50	0.50	3.75	2.48	2.40	4.86	76.08
	水 痘				0.50	0.50	0.50	0.16	0.16	0.21	3.15
	手 足 口 病	3.00	3.50	4.33	4.00	5.50	15.25	5.84	8.36	3.83	35.42
	伝 染 性 紅 斑									0.09	0.50
	突 発 性 発 疹			0.67		0.50	0.50	0.36	0.44	0.34	5.35
	ヘルパンギーナ	1.50	0.83	0.33	2.00	1.00	7.75	1.92	3.08	0.64	11.54
	流行性耳下腺炎								0.08	0.07	0.42
	RSウイルス感染症		2.50	3.67	2.00	0.50		2.12	1.68	1.37	11.73
眼科(3)	急性出血性結膜炎									0.04	0.37
	流行性角結膜炎									0.82	3.67
基幹 (8)	細菌性髄膜炎						1.00	0.13		0.02	0.88
	無菌性髄膜炎									0.04	0.13
	マイコプラズマ肺炎			0.60			2.00	0.63	0.38	0.25	3.63
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										0.04
	感 染 性 胃 腸 炎 (ロタウイルスに限る)			0.80				0.50		0.03	1.25
計 (小児科定点当たり人数)		13.75	14.73	19.58	20.75	14.25	38.25	20.56			606.01
前 週 (小児科定点当たり人数)		13.25	16.62	22.33	20.00	18.75	46.63		23.66		

疾病別・年齢別報告数

高知県感染症情報 (55定点医療機関)														2024年 24w											
定点 (定点数)	病 名	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上			
インフルエンザ /COVID-19(44)	インフルエンザ	2		1						1															
	新型コロナウイルス感染症	158			6	1	4	3	1	1		1		4	17	14	12	10	14	17	23	30			

定点 (定点数)	病 名	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上
小児科 (25)	咽 頭 結 膜 熱	8		3	3		1		1							
	A群溶血性レンサ球菌咽 炎	93			6	9	11	8	12	6	6	8	3	18	1	5
	感 染 性 胃 腸 炎	62		2	14	7	5	7	6	3	3	2	4	8		1
	水 痘	4			1						1			2		
	手 足 口 病	146	2	11	47	43	24	11	3	2	1	1		1		
	伝 染 性 紅 斑															
	突 発 性 発 疹	9		3	6											
	ヘルパンギーナ	48		5	8	12	10	5	3	4		1				
	流行性耳下腺炎															
RSウイルス感染症	53	1	11	16	12	11	1	1								

[illegible][illegible]

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2024年 第24週)

